

親切運動の取組について

学校名 富山県立富山商業高等学校

生徒数 697名（令和7年12月現在）

親切運動の取組の紹介

① 生活指導週間

全職員の生徒指導に対する共通理解を図り、富商ブランドを担う生徒の熟成に努める。また、さわやか運動の一環とし、規範意識やマナー等の向上に努めることを目的として、全教職員と生徒会執行部、PTAが参加しており、各学期の始まり4日間を生活指導週間としている。登校する生徒とあいさつをかわし、富商生としての自覚を持ってもらえるよう促しており、1学期は新生生には初めての登校で挨拶を戸惑う生徒もいるが、先輩たちの振る舞いに「これが富商」と気を引き締めてくれている。2学期には、多くの生徒があいさつを交わし、また自分の身なりを整えるきっかけとなっている。



② 赤い羽根募金活動

赤い羽根募金活動を3学期生活指導週間にあわせて、生徒会執行部で行っている。募金活動を通じて助けを必要としている人に今できることとして、朝のあいさつの声掛けとともに善意の協力を求めている。

③ 風紀委員会活動

各クラスから選出された風紀委員が中心となり、全校生徒の皆さんが安全安心な学校生活を送ることができるように活動している。自転車の鍵かけやヘルメットの着用、スマートフォンの正しい使い方などを呼びかけ、アンケートの結果などを掲載する「掲示板」を発刊し、意識の向上を促している。

今後の課題

これらの活動を通して、富商生としてあいさつ、善意の心、規範意識の向上の意識づけにはなっているが、参加生徒が生徒会執行部や風紀委員と一部の生徒に限られている。多くの生徒が主体となれる活動を今後考えていきたい。